

2018年度 第3回 SPring-8 ユーザー協同体評議員会 議事録

日時：2019年1月10日（木）10時00分～11時00分

場所：福岡国際会議場 4階 会議室1（404）

出席者：水木純一郎(会長)、東正樹、足立伸一、雨宮健太、雨宮慶幸(監事)、岡島敏浩、尾嶋正治、片山芳則、岸本浩通、坂田修身(副会長)、高原淳(監事)、田中義人(幹事)、辻淳一、野中敬正、原田慈久(幹事)、西原克浩、藤原明比古(幹事)、山口浩司、山本融

幹事・執行部：若林裕助、大和田謙二、吾郷日出夫、高尾正敏(企画委員長)、本間穂高(副会長)

オブザーバー：石川哲也、山川晃、大端通、桜井吉晴、木下豊彦、八木克仁、反町耕記、伊藤博幸

事務局：坂川琢磨

議題：

1 会長挨拶

水木会長から挨拶があった。

2 平成30年度第2回議事録の確認

平成30年度第2回議事録が確定した。

報告事項

3 第8回評議員選挙結果と再投票

選挙結果について資料1に沿って水木会長から「産業機関からの候補5名が信任されたこと。」「候補者名の誤植のため、学術機関からの候補者に関する投票を無効とし、再投票を行うこと。」について、お詫びと報告があった。併せて、再投票の期間、開票予定日時、会員への再投票の周知方法について報告があった。これらの報告に関し質問は無かった。

4 行事幹事報告

始めに行事開催状況として、田中行事幹事から「第18回 SPring-8 夏の学校」、「SPring-8 シンポジウム」、「第2回 SPring-8 秋の学校」の開催概要説明があり（資料2）、各論としてパネルディスカッションの議論を含む SPring-8 シンポジウム2018の詳細報告と利用者情報誌へ掲載された報告書「SPring-8 シンポジウム2018 報告」の紹介（資料3）、開催場所と日時を

含む SPring-8 シンポジウム 2019 の開催計画（資料 4）の報告があった。次いで、大和田行事幹事から第 2 回 SPring-8 秋の学校について参加者の声等を含めた開催報告があった（資料 5）。また、開催報告「第 2 回 SPring-8 秋の学校を終えて」の利用者情報誌での掲載が紹介された。これらの報告に関し質問は無かった。

5 会計幹事報告

SPring-8 シンポジウム 2018 の予算と確定した実績（資料 6）、また、2018 年度 SPring-8 ユーザー協同体の全体としての予算執行状況（資料 7）について順調に執行されている旨、藤原庶務幹事から報告があった。これらの報告に関し質問は無かった。

6 利用委員会報告

研究会開催状況について、分野間連携の推進を目的とした研究会開催にあたっての旅費支給に関する内規の改正に触れつつ、原田利用幹事から報告があった（資料 8）。また、分野融合型研究のナノデバイス科学が 2019A 期で第 2 期終了まで進んだこと、また JSR2019 企画講演「ナノスケールスピンドバイス開発に向けた放射光利用の最前線」が行われていることが報告された。同じく分野融合型研究の実用の第 2 期が始まっていること、1 期目の事後評価が終了したこと等が報告された（資料 9）。これらの報告に関し質問は無かった。

審議事項

7 年号表記

SPRUC における書類では改元に関わる混乱回避を目的に西暦を含む表記に努めることが藤原庶務幹事から提案され（資料 10）、審議の結果承認された。

8 特別総会議事

議題を含めた式次第が藤原庶務幹事から提案され（資料 11）、審議の結果承認された。

懇談事項

9 会員資格に関わる会則変更

会員資格喪失規定の明確化を目的とした会則改定について、次回総会での承認を目指した議論を評議員会で進めることに関し懇談した（資料 12）。異論はなく議論を継続することとなった。

10 評議員候補者推薦

代表機関からのみでは推薦が得られにくい有識者を評議員候補とすること、また必要な会則改定等について次回総会での承認を目指す方向性について懇談した（資料 13）。異論はなく議論を継続することとなった。

11 高度化に向けた SPRUC 内議論

SPring-8 シンポジウムのパネルディスカッション、理研・JASRI・SPRUC 3 者会合での議論を踏まえ、本年 3 月に開催する SPring-8 II をも見据えた SPring-8 の高度化に関するワークショップ「時期計画を見据えた高度化に関わる WS (案)」への参加と積極的な議論を期待するとの趣旨で、ワークショップへの協力依頼が水木会長からあった。また 3 者会合での議論等について記載した利用者情報誌の記事「SPring-8 ユーザー協同体四季報」も紹介された（資料 14）。

その後の懇談の中で、ワークショップの結果を SPring-8 シンポジウムのパネルディスカッションに反映できるタイミングや SPring-8 II を見据えた施設からの高度化計画の具体案に対するユーザーからの修正案が提案可能なタイミングなどを考慮した開催時期設定であること等について話があった。また、施設からの提案を聴く機会とユーザーが答える機会を別に設けた上で 8 月の SPring-8 シンポジウムに臨むことも一案であるとの意見もあった。

成果の最大化につながる運営の効率化に関わる議論や SLiT-J との役割分担などを議論する場があってもいいのではとの意見があった。

3 月に実施するのであれば、早急に日程を決め案内すべきとのコメントがあり、幹事が対応することとした。

12 秋の学校参加費

主催者として講師旅費を負担している秋の学校に関し、有料でも参加する価値があるとのアンケート結果、また社会人の一定程度の参加者数があること等のこれまでの状況を踏まえ、秋の学校への予算支出の圧迫をなくし実質的な SPRUC 予算の増額につながる利点もあることから、SPRUC の収益にならない範囲で次回の秋の学校から社会人の参加費の有料化を目指す方向性に関し懇談した（資料 15）。社会人への門戸の開放の方法や夏の学校との違いを含めた方針の違いの明確化などが企業へのアピールとして重要である等の意見があった。実際に放射光を用いた実習を含む講習会は、現在、大

学院生のみを対象としているが、企業研究者への開講への期待感を示す発言もあった。

連絡事項

13 今後の予定について藤原庶務幹事から紹介された（資料16）。

配布資料

- 資料1 第8回評議員選挙結果と再投票、第8回評議員選挙結果（産業）
- 資料2 行事幹事報告 行事開催状況
- 資料3 行事幹事報告 SPring-8 シンポジウム2018 開催報告
- 資料4 行事幹事報告 SPring-8 シンポジウム2019 開催計画
- 資料5 行事幹事報告 第2回 SPring-8 秋の学校開催報告
- 資料6 会計幹事報告 SPring-8 シンポジウム2018 予算・実績
- 資料7 会計幹事報告 2018年度 SPring-8 ユーザー協同体 予算・執行状況
- 資料8 利用委員会報告 研究会開催状況
- 資料9 利用委員会報告 分野融合型研究
- 資料10 審議事項1. 年号表記
- 資料11 審議事項2. SPring-8 ユーザー共同体2018年度特別総会
- 資料12 懇談事項1. 会員資格に関わる会則変更
- 資料13 懇談事項2. 評議員候補者推薦
- 資料14 懇談事項3. 高度化に向けた SPRUC 内議論
- 資料15 懇談事項4. 秋の学校参加費
- 資料16 連絡事項1. 今後の予定
- 参考資料 2018年度 SPRUC 評議員名簿
- 参考資料 SPRUC 組織図（2018.08.26 から）
- 参考資料 2018年度 SPRUC 会長・副会長・幹事等名簿（2018.10.1 から）
- 参考資料 2018年度 SPRUC 各種委員会名簿（2018.10.1 から）
- 参考資料 2018年度 SPRUC 顧問会議顧問名簿